

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2022年 7月 27日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府南丹市八木町池上古里1-1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 雪印メグミルク株式会社 京都工場 池上製造所 製造所長 柗 拓志

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001:2015（BSIグループジャパン株式会社認証）
適 用 範 囲	牛乳・飲料及び加工食品（ヨーグルト・クリーム・デザートなど）の生産
導 入 年 月 日	2005年12月15日（最終更新日2021年11月24日）
認 証 番 号	EMS 99990
基 本 方 針	別紙環境方針参照
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①エネルギー原単位の削減 今年度エネルギー原単位 54.52L/t以下 ②廃棄物量の削減 今年度廃棄物排出量 701.197t以下 ③リサイクル率の維持向上 今年度リサイクル率 100%
目標を達成するための取組の内容	①エネルギー原単位の削減 2号井戸インバーター運転による電力削減による電力削減、アイスバンクNo.1～No.4出口バルブ自動制御化による電力削減 ②廃棄物量の削減 ゲルル槽（汚泥減容槽）での処理量を増やすべく、硝化脱窒槽の流入負荷をこまめに調整し余剰汚泥の発生を抑制する。 ③リサイクル率の維持向上 廃棄物分別に関する教育を実施
目標を達成するための取組の進捗状況	①井戸ポンプ2号機の流量調整をバルブによる調整からINV運転に変更。アイスバンク1～4号の冷水バルブ開度制御により解氷速度を調整して冷凍機の運転時間を短縮 ②窒素値を常に監視し、可能な限り排水調整水をゲルル槽で処理することで、汚泥発生量の抑制を実施 ③廃棄物に関する講習会を2回/年開催。協力会社を含めた従業員への教育を実施
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①エネルギー原単位54.52L/t以下の目標値に対して62.88L/t（未達成） 2号井戸インバーター運転による電力削減による電力削減、アイスバンクNo.1～No.4出口バルブ自動制御化による電力削減等、様々な施策によりエネルギー使用量の削減を行ったが、生産量減少が継続したこと、蒸気ドレトラップや蒸気バルブからの蒸気漏れが頻発したことにより未達成。 ②廃棄物量削減の目標値701.197t以下に対して680.325 t（達成） ゲルル槽での処理量を増加させたことで余剰汚泥の発生量を抑制できた要因が大きく、廃棄物量の削減目標は達成。 ③リサイクル率の向上目標値100%に対して100%（達成） 全量リサイクル可能な業者へ排出できたことで目標達成。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法令の遵守確認を実施。特に問題ない状況である
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	2021年度はエネルギー原単位が目標未達になったが、次年度以降は当社KPIで定めたCO2削減を工場の省エネ活動と関連付け、各職場の取り組み成果、エネルギーロス「CO2値による見える化」を行っていくことで、省エネに関する意識付の強化を図り、全従業員が一丸となった省エネ活動を展開していく。また、廃棄物については目標達成ではあるが、今後も更なる無駄な廃棄の抑制、歩留まり向上を図るとともに、排水処理設備の運転管理方法を見直し、発生汚泥の削減を推進することで、当社KPIで定めた「2013年度比で2030年度までに廃棄物を30%以上削減」することに取り組んで行く。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。